

学校法人力タス聖母学園

令和6年度 事業計画(学園全体)

I .新規事業

1. 学園全体

学園の Web ページの充実

昨年立ち上げた学園 HP を利用し、法人全体の動きや各幼稚園の教育活動や行事の紹介
トピックス等も取り上げ情報発信に努めます。(法人、各幼稚園の SNS 利用にあたっての
規程整備)

2. 施設・設備

(1) 法人本部の電話機交換・中継機設置

法人として各園との相談業務、園業務のサポートを円滑に行うため、不具合のあった
電話機を交換します。

3. 教育・研究

(1) 幼稚園における学校評価について各幼稚園で実施し、その結果を公表していきます。

II .継続事業

1. 教育

(1) 学園教職員養成

・カトリック教育に携わる職員の養成のため、修養会などの研修に積極的に参加する機会を設けます。
・新任・中堅・主任・管理職など職種別研修を通して、学びや分かちあいによって人的交流を深め、学園への帰属意識を高めます。

(2) IT 管理者養成

ICT システムの導入によって IT 管理者の養成や学園の IT 利用規定の整備が必要です。現在体制を整えている途上にありますが、幼稚園職員のレベルに合わせた研修を行うことも必要です。将来的には管理者には専門的知識をもつよう研修を続けていきます。

2. 施設・設備

(1) 園児管理システム「コミュなび」の運用、IT 環境の充実

・「コミュなび」の導入によって、園内の円滑な事務作業が行えるようサポートしていきます。
・IT 利用規定に従って各幼稚園からの情報発信を行うよう指導、管理を行います。

3. その他

(1) 自己点検活動

各幼稚園の適切な会計処理のため、2023年度も担当職員を変更し、自己点検を継続して行います。

2024 年度 サンシティ聖母幼稚園 事業計画書

I. 2024 年度の事業の概要

子どもたちが様々な環境・経験の中で培ってきたものを自分一人に留めておくことなく、周りの人々にも伝え分かち合い、互いの違いを認め受け入れ合うように取り組んでいきます。

子どもたちの手本となる職員が愛を持って愛を示し、子どもたち一人ひとり、職員一人ひとり、周りの人々をかけがえのない存在として受け入れ、愛し合うことが出来るよう自己研鑽に励み高みを目指していきます。

2024 年度の主な新規事業は次の通りです。

1. 多様な他者との関りの機会の創出事業（まりあ教室）準備と開始
2. 園庭整備
3. 大型バス廃止・ワゴンバス開始
4. 園児用靴箱購入
5. 長期休みの給食注文

II. 新規事業

1. 多様な他者との関りの機会の創出事業（まりあ教室）準備・開始

東京都による新規事業として 0~2 歳の未就園児（保育の必要性不要）を対象として、定期的な預かりを実施する「多様な他者との関りの機会の創出事業」が令和 5 年 4 月から開始されました。板橋区から区内の幼稚園に当該事業の活用が奨励され、本園としては令和 6 年 4 月から新事業を実施します。人的・物的な環境設定は令和 6 年度中も引き続き進めています。新事業を開始するにあたり、現在行っている「かおり教室」との両立が困難であるため、かおり教室を廃止し、新事業の「まりあ教室」のみ 行うこととします。

令和 5 年 11 月に説明会を開催し募集を行った結果、2 歳児のみの受け入れで定員 24 名に対して現在 21 名が手続きを終了し、今後も増える可能性があります。まりあ教室から満 3 歳児クラスの「もも組」に移行する場合や 3 歳児入園までの準備期間としても利用できるようになっています。4 月 10 から開始予定です。詳しい内容はホームページ「まりあ教室」に記載しています。

2. 園庭整備

現在の園庭の状態が、水はけは良いが凹凸している部分があり、雨の後には水溜りが出来てしまっています。雨風などにより園庭の砂も流れていき少なくなってしまっていることから園庭を凸凹がないようにならして整備し、全体的に砂を入れて整えるようにします。

3. 大型バス廃止・ワゴンバス開始

園児減少に伴い園児バス利用者の人数も減ってきているのが現状です。大型バスは維持等がかかる上、

小回りが利かないため狭い道に入ることができません。バス停車所を保護者が送迎しやすい場所に設定したいと考えていますので、大型バスを廃止し、ワゴンバスを新たに購入します。

4. 園児用靴箱の購入

現在使用中の靴箱は数年前にメンテナンスを行いましたが、経年劣化のため安全・清潔面を考えて新しい靴箱を購入します。

5. 長期休みの給食注文

近年、就労する母親が増加の伴い、長期休み（夏休み・冬休み・春休み）を利用する子どもたちも増えています。保護者の負担軽減を考え、長期休み期間のみ希望日に給食を注文できるようにしていきます。

III. 繼続事業

1. 満 3 歳児クラス定員変更（増員）

令和 4 年度より開始した満 3 歳児クラスも 2 年を終えました。令和 5 年度に更なる増員が考えられた為、9 月に定員を 20 名から 30 名に変更をしました。最終入園者は 20 名で留まってしまいましたが、30 名定員のままで令和 6 年度以降も行います。

2. 子育て支援事業（ひまわりクラブ）

1・2 歳児の親子対象事業。園に来て遊びを楽しみ子育て相談の場ともなっているひまわりクラブは現在 36 名の登録があり、満 3 歳児クラス「もも組」へと繋がっているので引き続き継続していきます。令和 6 年度は週 1 回を週 2 回に増やして行います。

3. 園庭開放

月1回の園庭開放を楽しみにしている方が多いため、引き続き園庭開放日を設け園児募集に繋げるように努めます。令和6年度は園庭開放日を月1回から月2回に増やして行います。

4. 預かり保育事業

長期休みの際に働く親を中心に利用しやすいよう臨機応変に対応するように取り組みます。

5. 社会奉仕

令和6年度も老人ホーム慰問や感謝巡り等実施し、おにぎり献金や七五三・クリスマス献金を通して又、古紙・エコキャップや歯ブラシのリサイクルにより社会奉仕に努めます。

地域のお祭りや催し物にも参加し、繋がりをつけていきます。環境保全に関わる出張教室等も利用します。

2024年度 大村聖母幼稚園 事業計画

I. 2024年度 事業計画の概要

2024年は保育環境を整えることを第一に考えています。保育室の充実を図るために窓枠の交換工事や園舎の外壁塗装、防水改修工事を行いたいと思います。また人的環境も整えたいと思います。子どもたちの心身の健康と成長の発達のために必要な援助ができる保育を行うために保育者自身が積極的に研修会に参加し、学びを深めていきたいと思います。

II. 新規事業

1. 施設・設備

(1) コミュなび（園児管理システム）の充実

昨年の9月よりコミュなびを導入し、保護者との連絡や園児の出欠の確認などスムーズにできるようになりましたが、まだ活用されていない「なび」を少しずつ導入していくべきだと思います。

(2) 教室の窓枠（サッシ）の交換 6クラス分

経年劣化のため窓に隙間があるため、そこから隙間風や埃、排気ガスが入り、清浄な空気ではないため窓枠全体の交換をお願いしたい。6クラス分なので長期休み中の交換工事の実施を予定しています。

(3) 屋上・園舎全体の外壁防水塗装改修工事

経年劣化により屋上、増築などの改修工事をしている外壁にひびやさびが多数あり、頻繁ではないが雨漏りがあります。防水も剥がれている箇所が数カ所あるため改修工事を行います。

(4) 預かり保育（別館2階）の園児椅子 30脚購入

別館2階の預かり保育用の園児椅子は長年使用しているため、座る部分の木片やペンキが剥がれているところがあり、椅子の種類もバラバラなので30脚購入予定をしています。

III. 繼続事業

(1) モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教育の充実のため引き続き園内研修及び研修会（オンライン・集合）に参加し、充実させていきます。

(2) A:子育て支援2歳児クラス(ひよっこ組)

2歳児クラスは園児募集につながっているので継続していきます。

B:子育て支援親子参加クラス（バンビ組）

地域の子育て支援としての役割を果たしている親子参加のクラスは、母親同士の交流の場ともなっており、このクラスから2歳児クラスに入会へつながっていくよう継続していきます。

(3) 社会貢献

- 勤労感謝の日にちなみ、日頃お世話になっている業者や園医の先生方、郵便局、警察官、消防署の方々を訪問し、感謝の心を持つためにも継続していきます。
- 七五三・クリスマス献金を継続し、日本が恵まれた環境であることを知り、恵まれない子どもたちや困っている人への思いやりの心が形となるよう社会貢献につなげていきます。

(4) 保護者との連携

- 2ヶ月に一度の誕生会礼拝に保護者を招待し、司祭に祝福をいただいているが、保護者にも教会という違う雰囲気の中で祝う誕生会を喜んでいただいているため継続して行います。
- 信徒会館ホールや駐車場の広さに制限があるため、全学年の保護者が集うことができませんが、日程や時間の調整を行って行事を行い保護者との連携を深めていきます。

IV. 検討課題

- I. コミュなびによる日誌の記入やまだ使用していない「なび」の導入により、事務員と教職員の事務作業の効率化を図りたいと思います。

2024 年度 カトリック・カリタス幼稚園 事業計画

I .2024 年度 事業計画の概要

昨年度、創立 50 周年を迎え、記念祭も無事に終わることができました。保育環境、教職員の労務環境も整えながら、幼稚園全体の充実を図り、園児のトイレ改修工事、手洗い場の改修工事等を行ってきました。51 年目を歩き始める今年度も保育環境を整えることにより一層努めたいと思います。新型コロナウイルス感染とともに新たな感染症対策にも引き続き感染状況を注視し、園児をはじめ保護者及び教職員の安全・安心を心がけていきます。

2024 (令和 6) 年度の主な新規事業は次の通りです。

- 1, 園庭改修
- 2, 全館、LED 照明改修工事
- 3, 教会側フェンス工事
- 4, 遊具（ブランコ等）下、受付前の改修工事
- 5, 正門の近くに掲示板の設置
- 6, 1階テラスの屋根の増設と改修工事
- 7, 2階保育室エアコン取り換え
- 8, 1・2階用給湯器取り換え
- 9, 消火器・誘導灯の取り換え
- 10, マーチング楽器、衣装の買い替え
- 11, 事務室のパソコン

II. 新規事業

I . 施設設備

(1)園庭改修

雨が降った後の水はけがとても悪く、通行が困難になってしまいます。また、雨天時に園庭を駐車場にすると泥沼状態になり園庭を均さないと園児が安全に遊べなくなるため改修工事を行います。

(2)全館、LED 照明改修工事

数年前から計画していた LED 照明改修工事を行います。

(3)教会側フェンス工事

改修工事のできなかった教会側のフェンス工事を行います。

(4)遊具（ブランコ等）下、受付前の改修工事

昨年度未実施の遊具（ブランコ）下、受付前の人工芝を敷いている部分をより安全性の高いマット等に取り換え、保育環境を整えるようにします。

(5)正門側に掲示板設置

新しくなった門扉（正門）側に園案内や行事等お知らせのための掲示板を設置します。

(6)1階テラス屋根の増設と改修工事

昨年度未実施の1階テラスの屋根の増設と屋根部分が経年劣化のため取り換えます。

(7)2階保育室のエアコン取り換え

夏季に 19°C 以下にしないと室内が冷えず保育に支障をきたすためエアコンを取り替えます。

(8)1・2階給湯器取り換え

交換時期（10 年以上）にきており、使用に支障があるため取り替えます。

(9)消火器・誘導灯の取り換え

消火器の使用期限が切れ、誘導灯も交換時期にきているため交換します。

(10)マーチング楽器・衣装の買い替え

創立 50 周年を記念して新規購入し、園児たちの保育環境を整えていきます。

(11)事務所のパソコンの取り換え

平成 30 年度より使用しているデスクトップが Windows11 に対応しないため、教頭用のノートパソコンと合わせて購入します。

III. 継続事業

1. 幼稚園全体

- (1) 子育て支援事業としての未就児クラス（たんぽぽ教室）の継続
地域の子育て支援事業としての役割を果たしながら、園児確保に繋げます。
 - (2) 一時預かり事業の継続
園児募集のために始めた本事業であるが、モンテッソーリー教育の充実とともに、2歳児からの入園希望者増えてきました。教職員の配置を考えてさらなる充実に努めます。
- #### 2. 社会貢献
- (1) 七五三・クリスマス献金
七五三とクリスマスの意味と世界には食べ物がなくて苦しんでいる子どもたちがいることを知り、毎月第1・3金曜日に行っている[おにぎりの日]を通して、命の尊さ、助け合い心を養うようにします。
 - (2) 敬老の日、地域の老人ホーム慰問
毎年9月の敬老の日の前後に3か所の老人ホームと地域の自治会の方々と触れ合い、お年寄りの尊敬と感謝を表し、お年寄りを大切にする心を育むようにします。
 - (3) 勤労感謝
11月の勤労感謝にちなみ、いつもお世話になっている園医・歯科医・整形外科医と地域の交番、郵便局を訪問、また、園内では先生方に対して、毎日多くの人のおかげで安心して過ごす事ができていることをわかり感謝する気持ちを育むようにします。

2024年度名瀬聖母幼稚園事業計画

I. 2024年度事業の概要

2024年度は前年度に引き続きITC化のさらなる活用を目指します。管理システムの「バスなび」の導入により幼稚園・保護者・バス添乗員との連携が可能になりました。子どもたちの成長記録・保護者への日々の連絡は試行錯誤の上、軌道に乗り始めてきました。管理システムの「精算なび」の利用拡大や日誌等の記録は今年度確立していくことを目指します。また、幼稚園建物内部では保育室の扉の傾き、保育室パーテーションの取り換え、階段床張り替えが必要となります。

II. 新規事業

施設施設

- (1) 教室扉取り換え工事
園児が保育室の引戸の開閉の際、手を挟んで怪我をするケースが多くなりました。レールと扉の調整と、教室の中からも廊下の様子がみえるドアに取り換えます。
- (2) パーテーションの取り換え工事
保育室パーテーションはさび等で開閉が難しく、閉めた状態でも壁の損傷が著しいため取り換え工事をします。
- (3) 玄関・階段床張り替え工事
梅雨時には廊下の床に湿気が入り大量のカビが発生し清掃しても取り除くことができない状況になるため、玄関と階段の床は湿気防止を考量した素材の床に張り替えを行います。
- (3) 園児送迎用バス
園児送迎バスは購入から15年が経過し不具合が生じるようになりました。修理も頻繁でアシデントも多くあるため園児の安全を第1に考え、バスの新規購入を考えています。

III. 継続事業

教育・施設

- (1) モンテッソーリ教育
リモートを利用して数多くの研修に参加することが可能になりました。令和6年度も可能な限りモンテッソーリ教育の理論や提示を全職員（常勤・非常勤）が学び、モンテッソーリ教育の内容を充実させていきたいと思います。
- (2) タブレットおよびパソコンの活用
オンライン研修や「コミュなび」（管理システム）の活用のために、タブレットやパソコンの利用は欠かせないものとなります。研修によって自己研鑽に努めながら最新の機器を活用したいと思います。

(3) 音楽指導

2024年度も継続して音楽を専門に指導できる講師を招き、音楽指導を充実させていきたいと思います。さらに、年長児を対象とした和太鼓・マーチング指導のみならず、タンバリン・鈴といった打楽器や鍵盤ハーモニカの指導も受けたいと思います。

(4) 宗教教育

- A 毎週の集会を通して宗教講話の機会と各担任による振り返りを実践します。神様の話を通して人格形成と心の成長につながるよう努め、神との関り、家族との関り、友達との関わりを深めていきたいと思います。
- B ドンボスコの9歳の夢から200年を記念しドンボスコが目指してきた予防教育に力を注いでいきたいと思います。

(5) 保護者との連携

子どもの活動や行事を通して活発な活動に取り組めるようになりました。保護者との連携を大切にしてコロナ禍前の通常に戻していきたいと思います。

(6) 子育て支援

保育園の利用者が多くなり在籍数は少なくなりましたが、ひとり一人に手厚い保育を提供していきたいと思います。

(7) 社会貢献

2024年の新年早々に日本はまた大きな自然災害に見舞われ、人とのつながりの大切さ実感するところです。小さな愛の実践を通して、他者を思いやる心を育てていきたいと思います。七五三の献金・クリスマスの献金は子どもたちができる愛の業の一つとして継続したいと思います。

(8) 園児募集にかかる対策

園児の姿を動画で紹介するHPやSNSが園児募集につながったようです。2024年度も引きInstagram、Facebook等を利用して園関係者以外の方にも広く関心を持っていただくように更新していきたいと思います。